

# 第27回市長杯争奪市民ゲートボール大会

技術と頭脳とチームプレー 真手野チームが優勝



↑チーム全員で勝利をめざし、真剣勝負を繰り広げる出場者の皆さん

9月18日、国見台球技場で市長杯争奪市民ゲートボール大会が開催されました。この日は、市内から28チーム、約180人が出場。開会式では、奈良崎ツルさん（96歳、波多津町）をはじめ、90歳以上の出場者12人に特別賞のメダルが贈呈されました。

試合は、各チームとも随所に頭脳プレーが続出し、さわやかな秋空の下、一進一退の攻防が展開されました。なお、上位成績と特別賞受賞者は次のとおりです。

氏名	年齢	性別	町名
奈良崎ツル	96	女	波多津
兼武 キミ	95	女	波多津
古澤 芳夫	92	男	波多津
山口テルヨ	91	女	松浦
田原マツエ	91	女	波多津
岩崎百合枝	91	女	二里
村上 幸子	90	女	松浦
榑崎 林	90	男	大川
松本 關一	90	男	東山代
大野 初雄	90	男	松浦
松尾 國雄	90	男	南波多
馬場 兼男	90	男	松浦

（年齢は9月18日現在、敬称略）

### 【特別賞受賞者】

▽3位 八谷擲（二里町）

▽準優勝 大川内（大川内町）

▽優勝 真手野（黒川町）

### 【大会成績】

賞者は次のとおりです。

## 10月の町民スポーツ

5日（日）

- 二里町民グラウンド・ゴルフ大会  
午前8時30分開会 二里小学校
- 夢みさきクロスカントリー大会  
午前8時40分開会  
いまり夢みさき公園

12日（日）

- 東山代町民体育大会  
午後8時40分開会 東山代小学校

11月2日（日）

- 南波多町内一周駅伝大会  
午前8時30分開会 南波多町内

●黒川町内一周駅伝競走大会  
午前9時開会 黒川町内

11月9日（日）

- 波多津町内一周駅伝競走大会  
午後1時30分開会 波多津町内

## 10月の市民スポーツ

5日（日）

- 伊万里スポーツデイ  
▷市民ペタンク大会、新体力テスト  
午前8時30分開会  
国見台球技場ほか

- ▷キッズスポーツフェスティバル  
午前9時開会 国見台陸上競技場

9日（木）

- 市老連シルバー体育大会  
午前8時30分開会 国見台球技場

11日（土）

- 市小学校陸上運動大会  
午前8時20分開会  
国見台陸上競技場

13日（月・祝）

- 市民バレーボール大会  
午前8時30分開会 国見台体育館

- 国見台陸上カーニバル  
午前9時開会 国見台陸上競技場

16日（木）

- ふれあいいきいき  
グラウンド・ゴルフ大会  
午前8時30分開会  
国見台陸上競技場ほか

19日（日）

- 市制60周年記念事業 市民体育祭  
午前9時開会 国見台陸上競技場

25日（土）、26日（日）

- 県民体育大会  
午前8時50分開会  
武雄市・嬉野市・鹿島市ほか

26日（日）

- 市近郊ジュニアバドミントン交流大会  
午前9時開会 国見台体育館

31日（金）～11月2日（日）

- 市長旗争奪伊万里地区  
高等学校野球秋季大会  
午前9時開会 国見台野球場

11月2日（日）

- 伊西地区中学生新人ソフトテニス大会  
午前8時30分開会 国見台庭球場

- ベースボールフェスタ in 伊万里  
午前10時開会 国見台野球場

## 第16回ライオンズ杯争奪グラウンド・ゴルフ大会

●期日 9月7日（日） ●場所 国見台陸上競技場・球技場

総合優勝		岸川富美男（里和会）		
順位	Aパート	Bパート	Cパート	
1位	白石 貞子 （城山クラブ）	岸川富美男 （里和会）	福田 幸雄 （川東友好会）	
2位	佐古 充 （黒塩会）	米岡 里江 （立花台クラブ）	井上 豊 （浜玉クラブ）	
3位	武富 邦彦 （城山クラブ）	立石 貢 （脇野愛好会）	吉田 洋一 （大川内体協）	
4位	竹下 皓久 （有田有楽）	大久保靖幸 （大川町同好会）	馬場 文雄 （あさひが丘）	



↑日ごろの練習の成果を発揮し、チームプレーで勝利をめざしました。

▽5位 野、府招  
▽4位 立花、真手野、脇  
▽3位 大黒川  
▽2位 東山代  
▽1位 大川内

### 【大会成績】

●期日 9月11日（木）  
●場所 国見台球技場

## 第68回市老連ゲートボール大会



↓サイン色紙を手渡す李選手（左）と塚田選手（左から2番目）

↓ホークスジュニアアカデミーのコーチに直接指導を受けました

## 選手サイン会

## 親子キャッチボール教室

市制60周年記念事業

ウエスタン・リーグ伊万里大会

# 好プレー&交流でファンを魅了

8月30日、国見台野球場で、プロ野球の2軍公式戦『ウエスタン・リーグ伊万里大会』があり、福岡ソフトバンクホークスと広島東洋カープが対戦しました。12年ぶりの開催となったこの日、市内外から約2,400人が来場し、迫力あるプレーに熱い声援が送られました。試合は、伊万里商業高校出身の迎祐一郎選手のホームランなどで広島が5対2で勝利しました。

また、試合の前後には、福岡ソフトバンクホークスによる交流イベント（選手サイン会や親子キャッチボール、少年野球教室）が開かれ、参加者は選手との交流を楽しみました。



## 試合（福岡ソフトバンクホークス vs 広島東洋カープ）

↑4回表、3点本塁打を放ち勝利に貢献した広島・迎選手

↑先発して4回まで力投した福岡ソフトバンク・二保投手

山下さんは、昭和43年の監督就任後、甲子園大会に通算25回出場した経歴を持つものの、就任当時はお金がなく、頭を下げながら野球用具を調達した苦労話を告白。そんな時、母親が援助しようとする商売をしている姿を見て、「自分も後ろ姿で引っ張っていく監督になりたいと決心した」と、自身の原点を語りました。また、昭和54年夏の甲子園大会で、筑島高校（和歌山県）との延長18回の死闘を繰り広げ

た後、しばらく県大会で敗退する時期が続いたため、指導方針を「勝つ野球」から「育てる野球」に転換したり、プロ野球選手のデータを独自に分析して、育成に応用するなど、野球を通じて得た数々の指導哲学を紹介しました。

高校球児に対しては、野球が上手になるために、「キャッチボールが大事。思いやりを持って相手の胸に投げる、暴投したら誠意を持って謝るといふ『心』のキャッチボールができない子どもは、何をやってもダメ」と語りかけていました。

9月6日、市民センターで野球講演会が開催されました。この日、高校野球の強豪校・星稜高校の元監督で、松井秀喜さんをはじめ、多くのプロ野球選手を指導した山下智茂さんを講師に招き、「志を高く！ 視線を低く！」と題して講演が行われました。会場には、市内外から高校球児や野球関係者が詰めかけ、経験に裏打ちされた貴重な話に熱心に聞き入っていました。

講演会では、山下さんが自身の指導哲学を熱く語る様子も披露されました。



↑野球の指導は人間教育そのもの」と、自身の指導哲学を熱く語る山下さん

市制60周年記念事業

伊万里市野球講演会

星稜高校野球部元監督 山下智茂氏が講演